

# 子どもの笑顔が あふれるまちへ

もっと

## 垂水市の 子育て支援は 新・時代に突入



### 産婦人科医療体制 確保事業による 新しい医療機関

取材を通して、保護者の方々から「一昔前に比べると、子育て支援が充実していて、とても子育てしやすい環境になっている」という声を耳にしました。

現在、本市にとって宝である子どもたちの心身の健全な育成を図るべく、「子育て世代の経済的な負担軽減とサービスの充実」、「仕事と子育ての両立」を重点施策とし、『妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援』の実現に向けて取り組んでいます。

取り組んでいる事業の中には、県内初の試みのももあり、市外から転入されてくる方は、驚かれています。

今月号の特集では、垂水市独自の子育て支援の取り組みをご紹介します。私たちの大切な宝が、数年後に大きく輝き、垂水市を明るく照らしてくれることを願います。

## 日本の子どもの数は 減少し続けている 世界ワースト2位

総務省によると、外国人を含む15歳未満の子どもの数（4月1日時点）が1401万人で、43年連続で減少しているとのこと。3歳ごとの年齢層別は年齢が下がるほど減り、12歳〜14歳が317万人であるのに対し、0歳〜2歳は235万人となっています。

世界に目を向けてみても、韓国に次いで2番目に子どもの割合は低く、少子高齢化が際立っている状況となっています。



- ① 産婦人科医療体制確保事業 P9
- ② 子ども医療費無料化・窓口負担ゼロ P10
- ③ 保育料無料化 P11
- ④ 小中学校の給食費無料化 P12
- ⑤ 公園施設長寿命化事業 P13
- ⑥ ファースト・セカンド・サードブック事業 P13
- ⑦ GIGAスクール事業 P13

①今村英仁理事長（慈愛会）②尾脇雅弥市長 ③森山裕衆議院議員 ④貴島佳子院長（慈愛会垂水サテライトクリニック）⑤小林裕明教授（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生殖態生理学（産科婦人科学教室））⑥大石充教授（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学、垂水市スーパーバイザー）⑦囲み取材の様子 ⑧内覧の様子 ⑨テープカット

4月29日、本市初となる産婦人科医療機関「慈愛会垂水サテライトクリニック」のオープニングセレモニーが行われ、5月7日から診療が開始されました。

これは、本市と公益財団法人慈愛会が締結した「産婦人科医療体制確保事業に関する協定」に基づくもので、今村総合病院（鹿児島市）を母体とするサテライト型の医療機関です。

同クリニックでは、女性の心身の不調に対する漢方治療、子宮頸がんの検診等の婦人科の診察に加え、「妊娠の診断」や「34週までの妊婦健診」等の産科の診察が可能で、まさに「妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援」の実現に向けた事業と言えます。

詳しくは、広報たるみず5月号をご覧ください。



▲広報たるみず

### クリニックの概要



**所在地** 垂水市本町77

**診療時間** 13:30～16:30

**診療日** 火曜日・木曜日  
※祝日除く

**外来予約制**  
電話予約受付（火曜日・木曜日）  
13:30～16:00  
※ネットからも予約可能です  
0994-35-1583

至 垂水市役所

セブンイレブン ● 市民館 ●

国道230号 ●

よしとみクリニック ●

▲詳細情報



慈愛会垂水サテライトクリニック オープニングセレモニー